

## フードビジネスプロジェクト取組状況

プロジェクトとテーマ	平成25年度の主な取組状況	平成26年度取組項目
【拡大プロジェクト】		
1-1 宮崎の食肉	<p>(株)ミヤチク御池農場の整備による豚出荷頭数の増加(36,700頭増)  みやざき地頭鶏の需要拡大に対応した生産体制の強化  食肉加工商品の新規開発支援(機器導入支援3社)  食肉センター等実態調査の実施(食肉センター等10か所)  東京市場への生体出荷の拡大(25年度12月末時点 27回 324頭)  県産食肉の流通実態調査実施(牛肉、豚肉のエリア別、業態別実態)  宮崎牛のインターネット販売の実施(楽天市場における宮崎牛フェア)  シェフ等を招いた宮崎ブランドポークレセプションの開催(福岡 2月)  福岡民放3局のテレビCMによる宮崎牛PR(8月、10~12月)と消費拡大キャンペーンの実施(8月 福岡県内14店舗)  米国における宮崎牛販売プロモーションの実施(ニューヨーク、ハワイ)  メキシコにおける牛肉輸出の解禁に向けたPR活動(12月)  県産食肉を使った料理発表会の開催(県内 12月)  宮崎県食肉センター整備等検討会議の開催(2月)</p>	<p>宮崎牛のブランド力・知名度向上対策(関東地方)  東京市場(生体出荷先)仲卸業者等との協働による販売拡大  宮崎牛のメディア露出と購買機会の創出(福岡)  県内と畜率向上のための施設整備等具体的取組の検討  食肉センター施設等の整備  食肉加工商品の新規開発支援  既輸出国への販売促進及び新たな輸出可能国に向けた体制検討</p>
1-2 加工・業務用農水産物	<p>加工・業務用野菜生産組織の育成等(モデル輪作体系実証、省力・低コスト機械導入)  日向夏の夏季出荷の実施(低温貯蔵庫の整備等)  冷凍ミックス野菜等の食材詰め合わせ商品の開発  完熟マンゴーを使用した加工製品の製造拡大(冷凍完熟マンゴー)  冷凍野菜の利用拡大プロジェクトの開催及び商談会の支援(東京、県内1月)  県外の社員食堂、学生食堂向け啓発  おさかなレベルアップ検討委員会の設置に向け、県漁連等の関係者で協議(年度内に設置予定)</p>	<p>加工・業務用青果物の安定供給体制の検討及び生産振興計画の策定  生産拡大・強化のための国、県事業の活用促進  冷凍野菜の認知向上、利用(販路)拡大に向けた商談会やイベントの開催  関連企業参入に伴う原料供給体制の構築支援(野菜チップス、さといもパウチパック商品等)  冷凍野菜の輸出に向けた検討  県域的な水産物系統販売組織の設置について、関係団体の協議を促進  漁協及び系統団体と商工業者が連携した消費者に支持される商品づくりを推進  宮崎のさかなに関する効果的な情報の発信</p>
1-3 焼酎	<p>みやざき焼酎フェアの開催(首都圏、大阪地区で実施)  香港でのプロモーション活動  シンガポール・台湾でのフェアにおける県産焼酎の販売  中国からのバイヤー招聘実施(6社招聘、商談実施)  焼酎嗜好調査の実施(各アンテナショップ、焼酎フェア開催店舗)  原料(加工用米、かんしょ)確保に向けた焼酎メーカーとの意見交換</p>	<p>みやざき焼酎フェアの開催(開催店舗数の増加、内容の充実を図る)  県産焼酎の認知度向上のための重点的なPRの実施  香港・シンガポール・台湾等でのフェアにおける県産焼酎の販売  中国からのバイヤー招聘実施  販路開拓・輸出促進の意思を有する焼酎メーカーを支援することを目的とした、焼酎メーカー・関係機関・行政から構成される協議会等の設置  焼酎原料生産拡大に必要な機械等の導入支援  メーカーと産地等で構成する県協議会や各地域で構成する推進会議を設置し情報共有や課題解決に向けた取組を推進  全地域で多収性米品種及び低コスト技術を展示実証  原料用かんしょの生産拡大に向けた種苗供給体制の整備  原料生産の生産性及び収益性の向上</p>

プロジェクトとテーマ	平成25年度の主な取組状況	平成26年度取組項目
【挑戦プロジェクト】		
2-1 連携と参入による産地力の強化	(株)ひむか野菜光房における太陽光利用型植物工場の展開((株)日向中島鉄工所と日之出酸素(株)、生産者によるレタス生産) 県外企業による大規模施設園芸参入((株)ローソンファーム宮崎(きゅうり)、JR九州ファーム宮崎(ピーマン)) 庁内部局連携による企業情報収集・農業参入誘致活動等の展開(誘致資料の作成等)	企業参入に向けた受け皿づくり 庁内部局連携による企業情報収集・農業参入誘致活動等の展開
2-2 フードビジネスを支える加工・製造	発展型食品産業振興事業、みやざき農商工連携応援ファンド事業、食品加工高付加価値化事業、起業支援型地域雇用創造事業による新商品開発・市場開拓支援(40件採択) オープンラボを活用した食品開発モデルの実施(食品加工支援アドバイザー6名設置) 病院・福祉施設向け加工食品の参入支援(栄養士との意見交換、企業・病院・福祉施設の調査実施) 食品加工支援アドバイザー等の指導による新商品開発検討(野菜チップス) 宮崎空港ビルにおけるチャレンジショップの設置(48企業出展) アグリフードEXPO2013出展(5企業出展(成約2件、商談継続37件)) 食品の苦情・クレーム総合展の開催 みやざきの食品産業マッチング会の開催(38企業出展) 食品関連企業の立地等(9社)	フード・オープンラボの開設 食品加工アドバイザーの衛生管理指導等による取引拡大支援 各種事業による新市場開拓や新商品開発支援 高齢者向け加工食品の商品開発・販路開拓支援 県産野菜チップスの商品開発支援 宮崎空港ビルに加えて、スーパーにおけるチャレンジショップの設置 首都圏展示会(アグリフードEXPOやスーパーマーケットトレードショー)への出展 マーケティングセミナー、みやざきの食品産業マッチング会の開催やバイヤー招聘の実施 食品関連企業情報収集及び立地活動の展開 農業用作業機械、食品加工機械の製造拡大
2-3 効率的物流や多様な販売ルート、海外輸出拡大	販路開拓コーディネーターの活用等による新規外商先の開拓 福岡、大阪でのミニアンテナショップの展開 新規物産展の開拓 県外商談会に出展する事業者向けセミナーの実施 県産品カタログサイトのリニューアル 香港事務所の開設(6月開設) 香港、台湾、シンガポール等における知事セールスプロモーション実施 (株)楽天と連携したネットビジネス勉強会の実施、宮崎フェアの開催(予定) みやざきブランドマーケティングアドバイザーの設置(3名) 香港アンテナショップ「みやざき棚」設置 FOOD台北2013出展(6企業出展) 香港FOOD EXPO2013出展(5企業出展) Oishii JAPAN2013(シンガポール見本市)出展(6企業出展)	主要県産品に係る流通状況の調査と物流効率化に向けた検討会の設置 販路開拓コーディネーターの活用等による新規外商先の開拓 大都市圏に加え、中四国地方を含めたミニアンテナショップの展開 新規物産展の開拓 効果的な商談を行うことを目的とした、県内企業を対象とした商談力向上研修会の実施 貿易アドバイザーの配置(香港1名、台湾1名、シンガポール1名) 香港アンテナショップ「みやざき棚」の設置 FOOD台北2014出展 香港FOOD EXPO2014出展 フード&ホテルアジア2014(シンガポール見本市)出展 香港、シンガポール、台湾等でのフェアにおける県産品の販売 ネットビジネスの普及拡大 香港の企業と連携した販路拡大 香港での新たな輸出品目の掘り起こし
2-4 「食」による誘客と地産地消の拡大	宮崎シェフサミットの開催(11月～2月開催) ホテル旅館と連携した宮崎牛すき焼きのレシピ開発 すき焼きを核とした誘客キャンペーンの実施(11月～2月開催) 「宮崎焼酎めぐりと北郷の旅」商品の造成支援 新ご当地グルメ(日南カツオ炙り重、都城焼肉三昧、都農ふぐ丼、高鍋ロールキャベツ丼)のPR等による誘客促進 福岡市において、大分県と共同で「宮崎・大分天下取り(鶏)の戦いクリスマス陣」を実施 韓国の著名漫画家による「食」の魅力発信事業の実施	新たな料理の開発 県内の自治体やホテル旅館、飲食店等と連携した、宮崎牛などの「食」の魅力を活用した誘客の拡大 「食」を活かした旅行商品の造成や誘客キャンペーンの実施 「食」や観光農園等を活用したバスツアーの造成 「食」の魅力を掲載したドライブマップの作成 みやざき観光情報サイト「旬ナビ」を活用した「食」の魅力発信

プロジェクトとテーマ	平成25年度の主な取組状況	平成26年度取組項目
【イノベーションプロジェクト】		
3-1 食の安全・安心・健康「日本一」	<p>食の安全・安心・健康に関する研究・分析体制の強化            G A P（農業生産工程管理）の普及定着のための研修会の開催            みやざき商品ブランド認証制度により、促成ピーマンを健康に着目した商品として認証（1商品）            ブルーベリー葉未利用茎の利用可能性調査の実施</p>	<p>産学連携による研究体制の強化と成分分析技術の更なる高度化            食の安全・安心推進条例（仮称）の制定            健康に着目したブランド認証品目の拡大            ブルーベリー葉の新規機能性解明に向けた研究強化</p>
3-2 「日本一」キャビア産地づくり	<p>チョウザメ・キャビアの効率的生産技術開発            養殖業者による事業協同組合の設立            チョウザメ販売戦略の策定            宮崎県産キャビアの販売開始（11月）</p>	<p>宮崎キャビアの効果的なP Rによる着実な販売とブランド価値の向上            県内市町村、商工業者と連携した魚肉販売・加工品開発の促進            宮崎キャビアの輸出に向けたラベリングシステム構築の国への要請            養殖経営体の技術・経営指導            宮崎キャビアの品質向上技術、成長促進技術、早期雌雄判別技術の開発</p>
3-3 先進的生産・製造	<p>農家におけるほ場管理システムの活用・導入促進            施設園芸における木質バイオマス暖房機の普及（116台導入（予定を含む））            宮崎方式I C Mの定着促進            新品目「ライチ」の初出荷</p>	<p>ほ場管理システムの現地実証の検証            大規模法人や組織的活用事例等の収集            新品目「ライチ」の出荷量、出荷者数の拡大、認知度向上            I C Tを活用したスマート農業導入実証、高度化事業等の推進            宮崎方式I C M方式取組品目及び面積の拡大            G A P手法を活用した宮崎方式I C Mの普及促進            新品目「ライチ」の出荷量、出荷者数の拡大、認知度向上            宮崎県施設園芸木質バイオマス利用促進協議会における木質バイオマス暖房機普及拡大</p>

その他項目	平成25年度の主な取組状況	平成26年度の取組
【フードビジネス推進のための基盤整備】		
1 外部人材の活用	<p>戦略産業雇用創造プロジェクトを活用した外部人材の確保・活用（県、商工団体、農業団体の連携による人材リスト作成、委嘱）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター1名、アドバイザー2名ほか（フードビジネス相談ステーション）</li> <li>・販路開拓コーディネーター1名（新宿みやざき館KONNE）</li> <li>・食品加工支援アドバイザー6名（食品開発センター）</li> <li>・生産・加工連携コーディネーター1名（農業振興公社）</li> <li>・農業参入企業支援アドバイザー1名（総合農業試験場）</li> <li>・食品機械・農業機械マッチング調査員1名（県工業会）</li> <li>・海外市場営業支援トレーダー1名（ブランド流通対策室）</li> <li>・みやざきブランドマーケティングアドバイザー3名（ブランド流通対策室）</li> </ul>	<p>戦略産業雇用創造プロジェクト等を活用した外部人材活用の拡大</p>
2 人材育成・研究機能強化	<p>食の安全・安心・健康に関する研究・分析体制の強化（戦略産業雇用創造プロジェクトの活用）</p> <p>フードオープンラボの建設（1月着工）</p> <p>高鍋農業高校に教育環境整備のための販売実習棟・ビニールハウスの新築・改築</p> <p>農業系県立高校での新商品開発に向けた研究</p> <p>農林水産業経営多角化チャレンジ塾の開催（46名参加）</p>	<p>戦略産業雇用創造プロジェクトを活用した人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードビジネス人材育成プログラムの作成</li> <li>・食関連企業における人材育成支援</li> <li>・求職者に対する知識・技能の習得支援</li> </ul> <p>食の安全・安心・健康に関する研究・分析体制の強化</p> <p>フードオープンラボの開設</p> <p>農林水産業経営多角化チャレンジ塾の開催</p> <p>高鍋農業高校にフードビジネス科を設置（生徒受け入れ開始）</p>
3 情報収集・発信、機運醸成、体制整備	<p>食関連企業情報の収集・活用</p> <p>フードビジネス相談ステーションの設置（KITENビルに設置）</p> <p>フードビジネスかわらばんの発行（3回）</p> <p>フードビジネス推進大会の開催（2月3日開催）</p> <p>フードビジネス推進体制の整備</p>	<p>主要県産品のマーケティング調査の実施</p> <p>フードビジネス相談ステーションの機能強化</p> <p>フードビジネスかわらばんの発行</p> <p>フードビジネス推進大会の開催（予定）</p> <p>フードビジネス関連企業のネットワークの構築</p>
【地域・市町村における取組】		
1 地域ネットワーク会議	<p>県内7地域において地域ネットワーク会議を設置、地域別テーマを設定し、ワーキングチームにおいて取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部地区 「ファーマーズマーケットを起点とした地域農業振興方策の検討」「地域特産物『しょうが』の付加価値向上と地域の活性化」</li> <li>・南那珂地区 「南那珂地域の特色ある地域資源の発掘及び再付加価値化によるヒト・モノの交流拡大」</li> <li>・北諸県地区 「いも焼酎原料用加工米及び原料用かんしょの生産拡大」「盆地グルメ・特産品の開発・PR」</li> <li>・西諸県地区 「西諸県地域の農林水産物を活用した高付加価値商品の開発と流通・販売体制の確立に向けた戦略的展開」</li> <li>・児湯地区 「加工・業務用農産物の産地確立」</li> <li>・東臼杵地区 「高速道路開通による誘客拡大に向けた“道の駅・直売所等の魅力づくり”・“来客者をターゲットとした食・商品づくり”」</li> <li>・西臼杵地区 「西臼杵における食品加工と駆除有害獣のジビエ等の活用」</li> </ul> <p>市町村・地域における個別の取組に対する支援や情報の共有化</p>	<p>各地域ネットワーク会議において設定したテーマに係る具体的な取組の展開</p> <p>市町村や地域のフードビジネスの育成・創出の取組に対する支援</p>

その他項目	平成25年度の主な取組状況
2 各市町村・地域	<p>【中部地区】 宮崎市清武町で㈱ローソンと提携した農場がキュウリの生産開始 県事業を活用した胡蝶蘭のネット販売拡充、生姜農家が加工用の予冷库を導入した6次産業化の取組 自家製粉の小麦を活用したせんべい生産への取組</p>
	<p>【南那珂地区】 総合化事業計画認定の取組（ヤマダイフーズ） “ヤマダイかんしょ”原料の「かりんとう」「回転焼き」の製造・販売 「農商工連携塾」の開催（日南商工会議所） 日南の豊かな農林水産資源を活用した新商品の製造・販売ができる人材育成のため9/26～1月中旬まで計8回開催 港の駅「めいつ」に水産物加工処理施設（直売施設）を新設（南郷漁業協同組合）（2/1オープン 敷地面積約340㎡） チョウザメの特産化に向け料理講習会を開催（10/8） 宮崎キャビア事業協同組合に加盟する養殖業者が企画、日南市内の観光関係者約20人が参加</p>
	<p>【北諸県地区】 はばたけ都城！6次産業化推進大会の開催（H25.8.9）（都城市六次産業化推進事務局） 都城焼肉三昧 船盛り御膳の取組み（都城ご当地グルメ推進協議会） みやこんじょ肉丼グランプリの開催（H25.10.26・27） ～『名物』肉丼をあなたの手で！～ ・ グランプリ、準グランプリの決定 出品された7品目の肉丼のうち5品目を都城市内の飲食店5店舗にて販売予定（みやこんじょ肉丼グランプリ事務局） 県産黒豚を使用した“みまたんメンチカツ”の開発（三股町農産物利用地域活性化推進協議会）</p>
	<p>【西諸県地区】 日本酒の共同開発 農事組合法人はなどう、千徳酒造株式会社、日本料理店「かさね」の柏田幸二郎氏の連携による日本酒開発、12月25日に新酒「穂倉千徳」発売 チョウザメご当地グルメの開発 H25.10.29 「小林チョウザメ炙りちらし」完成発表会、H26.2.6「小林チョウザメ握り膳」完成発表会ほか 焼き肉のたれの製造のマッチング 梨、キウイ、ネギ、玉ねぎ、にんにく 香港「みやざき棚」出展や商談会について構成員に情報交換と提供</p>
	<p>【児湯地区】 JR九州ファーム宮崎㈱が、新富町に整備したハウスピーマン施設の竣工式を兼ねた収穫祭を9月21日に開催。その後定期的に現地検討会を開催して栽培管理などの指導を実施中 地元産の米を原料にした米粉料理店が、10月2日に新富町内で開店 11月6日に新富町「小麦普及促進協議会」が設立総会を開催 学校給食への採用、町内飲食店への供給、町のイベントでのPRなど地産地消を推進 11月12日に西米良村のジビエ加工施設を訪問し、雇用に関する助成措置などをアドバイス</p>
	<p>【東臼杵地区】 のべおか6次産業化・農商工連携推進会議の設立及び研修会の開催（H25.11.28）（延岡市） 日向のへべす消費拡大プロジェクト会議（振興局・普及センターも協力・支援） 周年出荷体制の確立に向けた冷蔵・冷凍試験（3D急速冷凍庫等）を実施。 豚肉の新たなブランドづくりに向けて8月26日にJA日向肉豚部会、日向市、農林振興局等と「へべす豚プロジェクト会議」を設立。 延岡市北浦町の養殖業者（ブリ、マサバ）や水産試験場と連携し、へべすの絞りがすを飼料に添加し、品質向上効果などの試験を開始。 「Soup Stock Tokyo」と諸塚村が提携し、椎茸とジビエ素材を活用した「森の恵みのスープ料理」コンテストを開催。 6次産業化を見据えた岩がき養殖の拡大（地域別テーマのワーキング）との位置付け 参加漁業者は17経営体。H25の出荷実績は約2ト、H26.3～8の出荷見込みは約15～20ト。 さらに、H27.3～8の生産目標を40～50ト程度として天然採苗・育成に取組中。 「カキ焼き小屋」等の展開を今後検討。</p>
	<p>【西臼杵地区】 加工グループによる「九州食の展示商談会2013inくまもと」への出店 加工グループによる「五ヶ瀬マルシェin宮崎」への出店 6次産業化相談会の実施 お茶加工品…宮崎茶房（総合化事業計画認定） 2番茶等を原料に、釜炒り製法の紅茶・ハーブ茶等の開発 加工業者と共同でかりんとう・せんべいの開発 ゆず加工品…ゆずの華（総合化事業計画申請予定） 特産品であるゆずを使った加工品の製造・販売を行っている。 閑散期対策としてゆずの皮を使ったお菓子の開発 農事組合法人高千穂かわのぼりによる集落の耕作放棄地を活用した大豆の生産及び味噌の開発</p>

年次別推進の考え方

